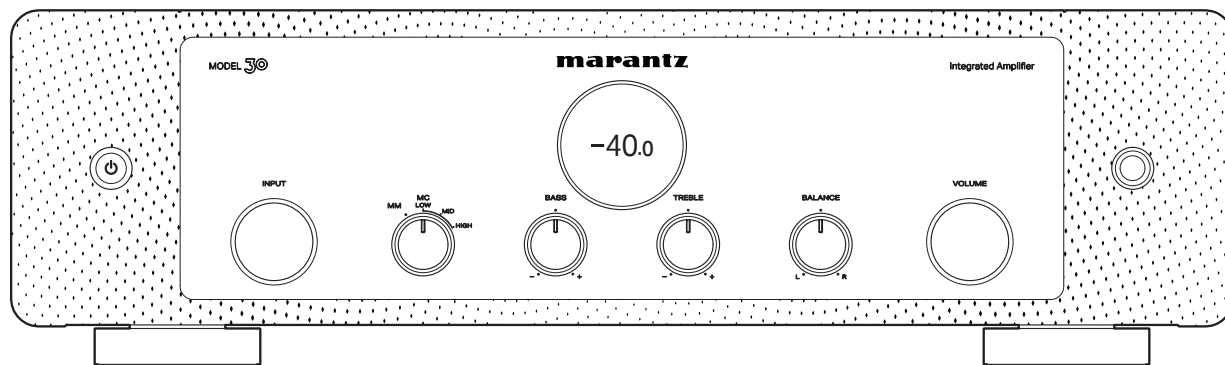


marantz®



MODEL 30 | Integrated Amplifier

取扱説明書

目次

使用上のご注意	4
携帯電話使用時のご注意	4
お手入れについて	4
結露(つゆつき)について	4
付属品	5
乾電池の入れかた	6
リモコンの使いかた	6
各部の名前	7
フロントパネル	7
リアパネル	10
リモコン	12

接続のしかた

スピーカーを接続する	16
スピーカー接続	17
再生機器を接続する	18
録音機器を接続する	19
プリアンプやパワーアンプを接続する	20
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	21
Marantz 製オーディオ機器をリモート接続する	21
電源コードを接続する	22

再生のしかた

電源を入れる	24
電源をスタンバイにする	24
入力ソースを選ぶ	25
音量を調節する	25
一時的に音を消す(ミュートイング)	25
音質および音量バランスを調節する	26
ソースダイレクトモードで再生する	26
CD を再生する	26
本機をパワーアンプとして使用する	27
録音する	27

設定のしかた

ディスプレイの明るさを切り替える	29
ライティング LED の明るさを切り替える	30
オートスタンバイモードを設定する	31
リモコンコードを設定する	32
リモコンのリモコンコードを設定する	33
本体のリモコンコードを設定する	33

困ったときは

こんなときの解決方法	35
故障かな？と思ったら	36
電源が入らない / 電源が切れる	37
リモコンで操作ができない	38
本機のディスプレイが表示されない	38
音がまったく出ない	39
希望する音が出ない	39
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	40
保証と修理について	41

付録

用語の解説	43
主な仕様	44
索引	47

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

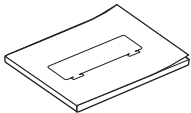
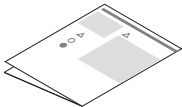
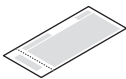
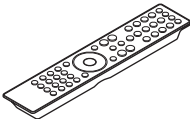
お買い上げいただきありがとうございます。

本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

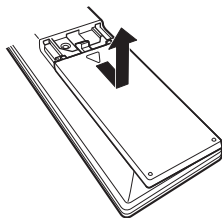
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

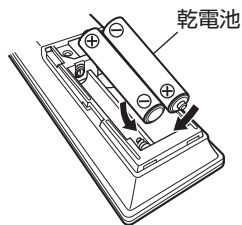
 かんたんスタートガイド	 取扱説明書(本書)	 安全にお使いいただくために	 保証書
 電源コード【本機専用】	 リモコン (RC002PMND)	 単4形乾電池(2本)	

乾電池の入れかた

1 裏ぶたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。



2 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



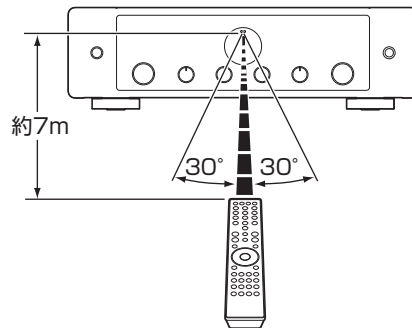
3 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

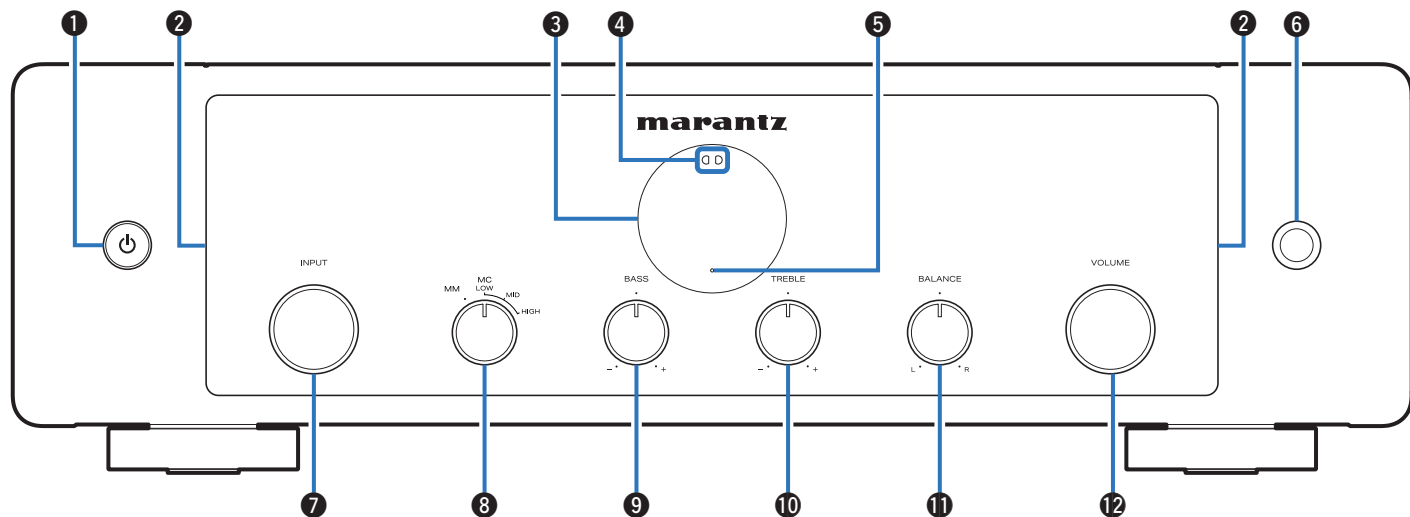
リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。

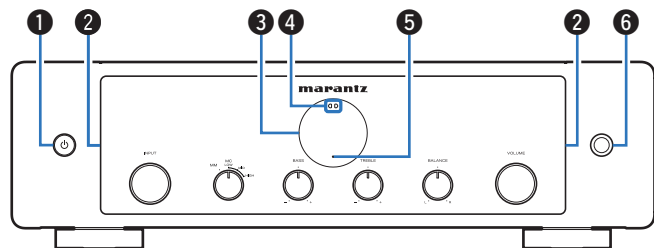


各部の名前

フロントパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



① 電源ボタン(⏻)

電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P.24 ページ)

② ライティング LED

電源をオンにすると点灯します。明るさを調節したり消灯したりできます。(P.30 ページ)

③ ディスプレイ

各種情報を表示します。

④ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(P.6 ページ)

⑤ 保護回路動作表示

保護回路がはたらいているときに点滅します。(P.37 ページ)

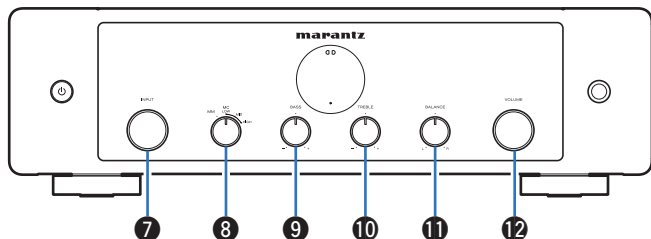
⑥ ヘッドホン端子(PHONES)

ヘッドホンを接続します。

ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーおよびプリアウト端子から音が出なくなります。

ご注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。



⑦ 入力ソース切り替えつまみ(INPUT)

入力ソースを切り替えます。(P.25 ページ)

⑧ カートリッジ切り替えつまみ

本機に接続するレコードプレーヤーのカートリッジの種類やインピーダンスに応じて、本機のフォノイコライザーを設定します。

MM: MM カートリッジの場合に設定します。

MC LOW(33Ω): 50Ω 未満の MC カートリッジの場合に設定します。

MC MID(100Ω): 50Ω 程度の MC カートリッジの場合に設定します。

MC HIGH(390Ω): 100Ω 以上の MC カートリッジの場合に設定します。



- MC カートリッジの場合は、ご使用になるカートリッジの推奨入力インピーダンスに最も近い値か、カートリッジ内部インピーダンスの数倍程度の値に合わせて設定してください。
- 本設定の切り替え操作をおこなった場合、切り替えてから約 4 秒後に再生音を出力します。

⑨ 低音調節つまみ(BASS)

低音の音量を調節します。(P.26 ページ)

⑩ 高音調節つまみ(TREBLE)

高音の音量を調節します。(P.26 ページ)

⑪ バランス調節つまみ(BALANCE)

左右のスピーカーから出力する音量のバランスを調節します。(P.26 ページ)

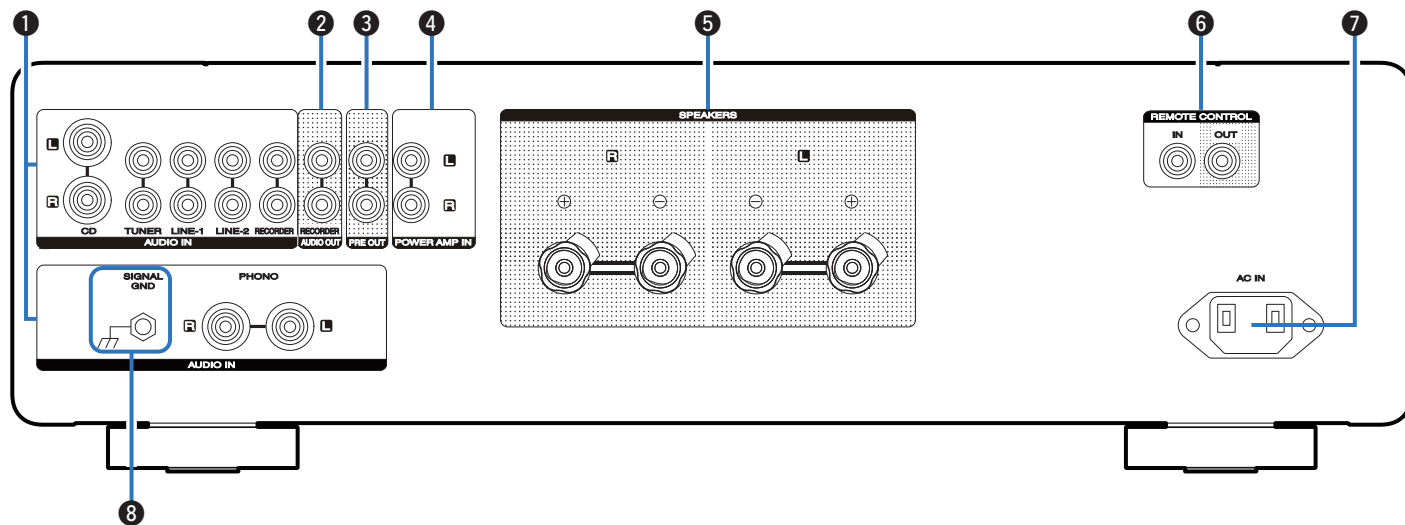
⑫ 音量調節つまみ(VOLUME)

音量を調節します。(P.25 ページ)

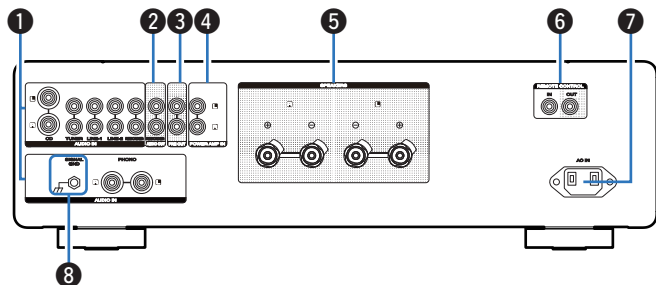


- ⑨、⑩ および ⑪ はトーンバランスコントロールがオンのときに調節できます。(P.26 ページ)

リアパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



① アナログ音声入力端子(AUDIO IN)

アナログオーディオ出力端子付きの機器を接続します。

- ・「再生機器を接続する」(18 ページ)
- ・「録音機器を接続する」(19 ページ)

② アナログ音声出力端子(AUDIO OUT/RECORDER)

録音機器の入力端子を接続します。(19 ページ)

③ プリアウト端子(PRE OUT)

パワーアンプやサブウーハーを接続します。(20 ページ)



- ・ サブウーハーを接続する場合、お手持ちのサブウーハーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

④ パワーアンプ入力端子(POWER AMP IN)

本機をパワーアンプとしてご使用になる場合に、プリアンプを接続します。(20 ページ)

⑤ スピーカー端子(SPEAKERS)

スピーカーを接続します。(16 ページ)

⑥ リモートコントロール入出力端子(REMOTE CONTROL)

リモートコントロール機能に対応している Marantz 製オーディオ機器を接続します。(21 ページ)

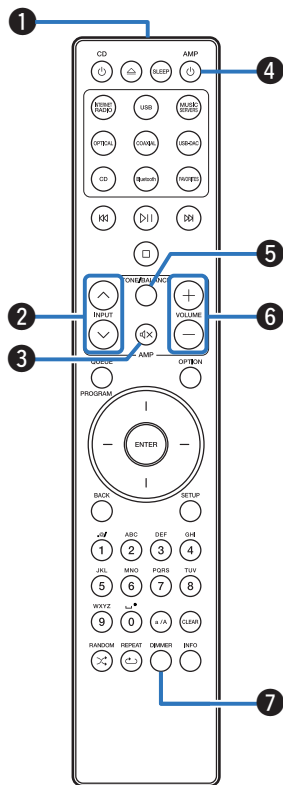
⑦ AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。(22 ページ)

⑧ アース端子(SIGNAL GND)

レコードプレーヤーのアース線を接続します。(18 ページ)

リモコン

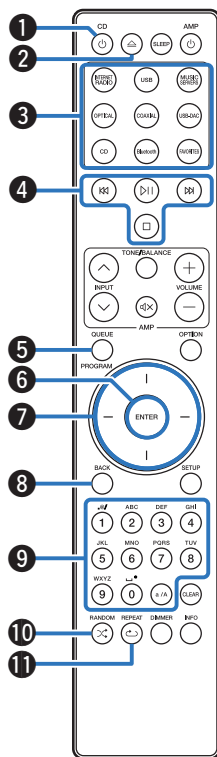


付属のリモコンは本機だけでなく、Marantz 製ネットワーク SACD プレーヤーも操作できます。

- 「ネットワーク SACD プレーヤーの操作」(P.13 ページ)

■ 本機の実操作

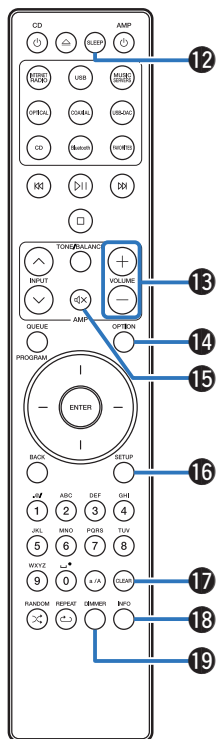
- 1 リモコン信号送信窓**
リモコンの信号を送信します。(P.6 ページ)
- 2 入力ソース切り替えボタン (INPUT へ)**
入力ソースを選択します。(P.25 ページ)
- 3 ミュートボタン (MUTE)**
消音します。(P.25 ページ)
- 4 電源ボタン (AMP 電源)**
 - 電源をオン/オフ (スタンバイ) します。(P.24 ページ)
 - オートスタンバイモードのオン/オフを切り替えます。(P.31 ページ)
- 5 トーン/バランスボタン (TONE/BALANCE)**
 - トーンバランスコントロールのオン/オフを切り替えます。(P.26 ページ)
 - ソースダイレクトモードのオン/オフを切り替えます。(P.26 ページ)
 - ディスプレイにライティング設定メニューを表示します。(P.30 ページ)
- 6 音量調節ボタン (VOLUME 増減)**
音量を調節します。(P.25 ページ)
- 7 ディマーボタン (DIMMER)**
ディスプレイの明るさを調節します。(P.29 ページ)



■ ネットワーク SACD プレーヤーの操作

Marantz 製ネットワーク SACD プレーヤーを操作できます。

- ① 電源ボタン(CD ㊦)
- ② ディスクトレイ開閉ボタン(△)
- ③ 入力ソース選択ボタン
- ④ システムボタン
- ⑤ キューリスト呼び出しボタン(Queue)
プログラムボタン(PROGRAM)
- ⑥ エンターボタン(ENTER)
- ⑦ カーソルボタン
- ⑧ バックボタン(BACK)
- ⑨ 数字/文字ボタン(0~9、a/A)
- ⑩ ランダムボタン(RANDOM ㊦)
- ⑪ リピートボタン(REPEAT ㊦)



⑫ スリープタイマーボタン(SLEEP)

⑬ 音量調節ボタン(VOLUME +)

⑭ オプションボタン(OPTION)

⑮ ミュートボタン(⏸)

⑯ セットアップボタン(SETUP)

⑰ クリアボタン(CLEAR)

⑱ インフォメーションボタン(INFO)

⑲ ディマーボタン(DIMMER)



• 一部操作ができない製品もあります。

- ⑬ と ⑮ はリモコンコードがネットワーク SACD プレーヤー操作モードのときにのみ、はたらきます。詳しくは、Marantz 製ネットワーク SACD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

接続のしかた

■ 目次

スピーカーを接続する	16
再生機器を接続する	18
録音機器を接続する	19
プリアンプやパワーアンプを接続する	20
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	21
電源コードを接続する	22

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

スピーカーケーブル	
オーディオケーブル	
リモート接続ケーブル	

スピーカーを接続する

ご注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。(「保護回路」(P.43 ページ))
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーは、インピーダンスが 4~16Ω のものを使用してください。

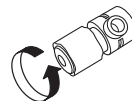
■ スピーカーケーブルを接続する

本機と接続するスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+ (赤)、- (白)をよく確認して、同じ極性を接続してください。

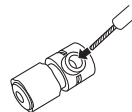
- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。



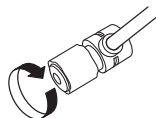
- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の穴に差し込む。



4 スピーカー端子を右に回して締める。

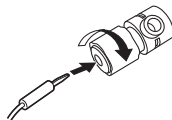


Y ラグ端子

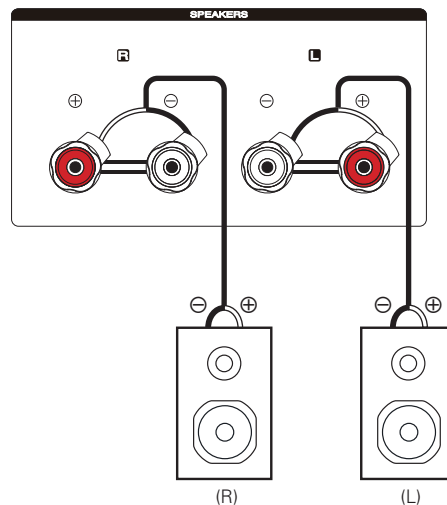


バナナプラグの場合

端子を右に回して締め付けてから挿入する。



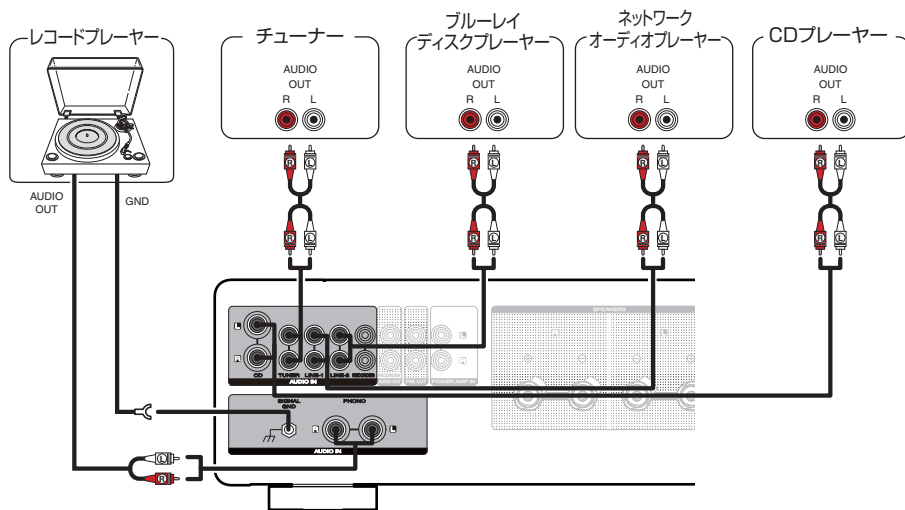
スピーカー接続



再生機器を接続する

本機には、レコードプレーヤー、チューナー、ブルーレイディスクプレーヤー、ネットワークオーディオプレーヤーおよび CD プレーヤーを接続できます。レコードプレーヤーを接続する場合、レコードプレーヤーのカートリッジの種類に合わせ、フロントパネルのカートリッジ切り替えつまみを使って本機のフォノイコライザーを設定してください。(P.9 ページ)

本機の入力ソースを“PHONO”にし、レコードプレーヤーを接続せずに音量を上げると、“ブーン”という雑音がスピーカーから出力される場合があります。



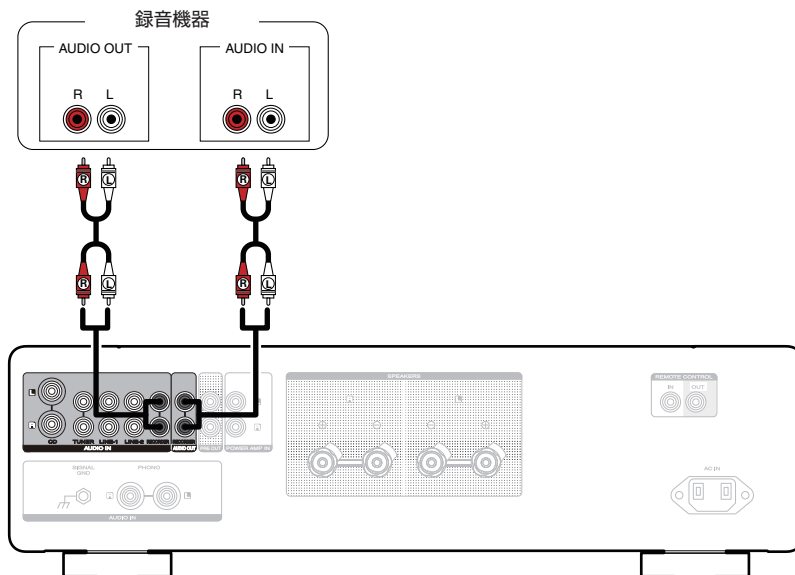
ご注意

- 本機のアース端子(SIGNAL GND)は、安全アースではありません。雑音が多いときに接続すると、雑音を低減できます。ただし、レコードプレーヤーによっては、アース線を接続すると逆に雑音が大きくなる場合があります。この場合は、アース線を接続する必要はありません。



- PHONO 入力端子には、ショートピンプラグが装着されています。レコードプレーヤーを接続する際は外してください。外したショートピンプラグは大切に保管してください。

録音機器を接続する

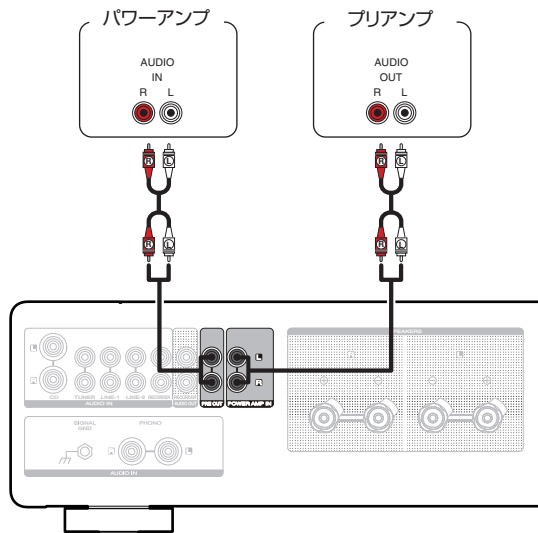


ご注意

- レコーダー出力端子(AUDIO OUT RECORDER)にショートピンプラグを挿入しないでください。故障の原因になります。

プリアンプやパワーアンプを接続する

パワーアンプを接続して本機をプリアンプとして使ったり、プリアンプを接続して本機をパワーアンプとして使ったりすることができます。



- プリアンプを接続して本機をパワーアンプとしてお使いの場合は、入力ソースを“PWR AMP”に切り替えてください。(P.27 ページ)

ご注意

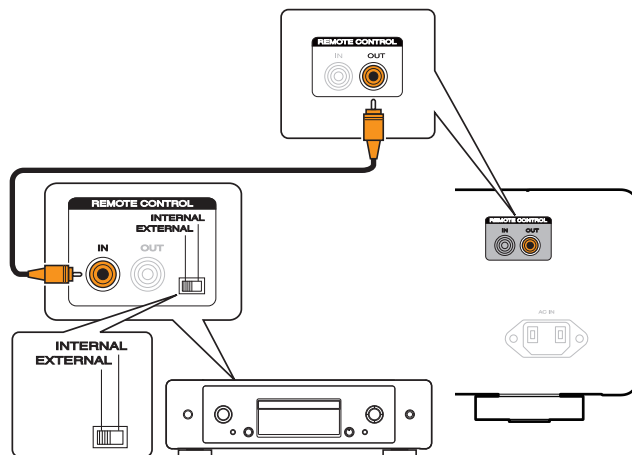
- プリアウト端子(PRE OUT)にショートピンプラグを挿入しないでください。故障の原因になります。

リモートコントロール端子付きの機器を接続する

Marantz 製オーディオ機器をリモート接続する

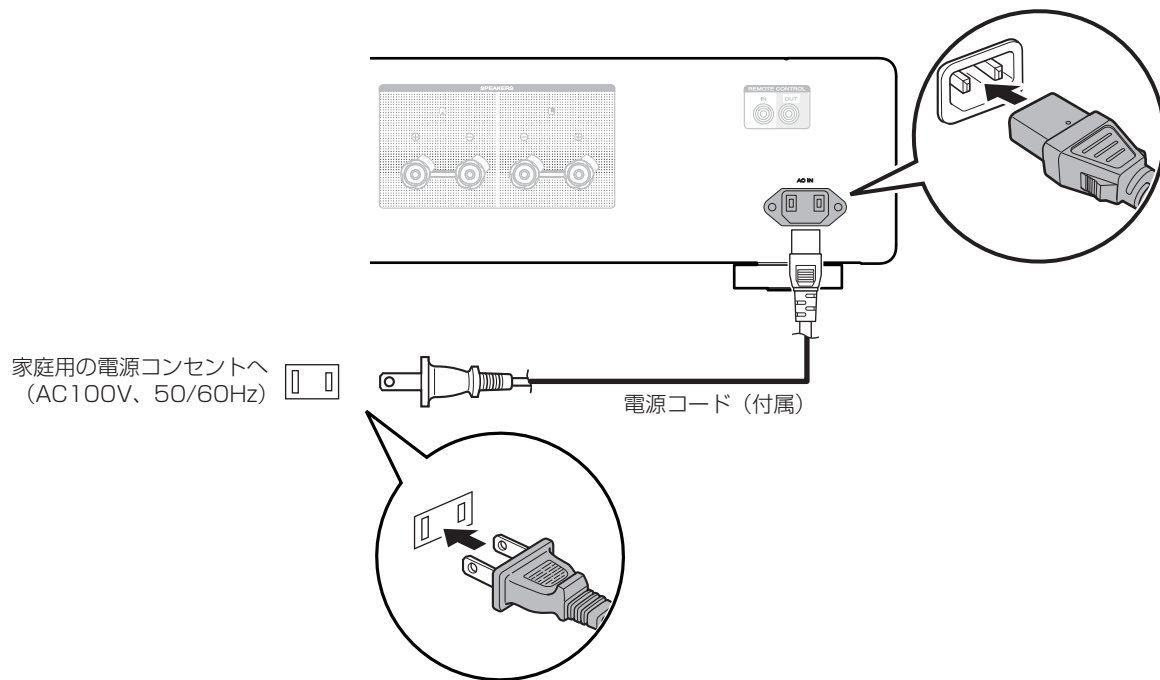
Marantz 製オーディオ機器に付属しているリモート接続ケーブルを使用して REMOTE CONTROL IN/OUT 端子に機器を接続するだけでリモコン信号を転送できます。

この接続をおこなう場合は、本機と接続する機器の背面に装備されているリモートコントロールスイッチを“EXTERNAL”に設定してください。



電源コードを接続する

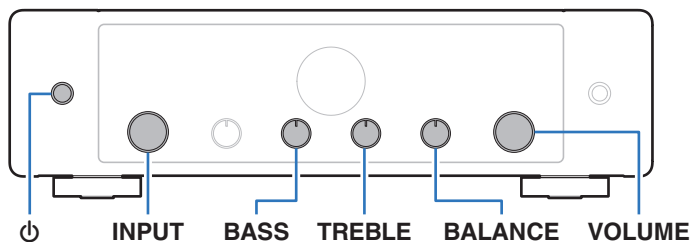
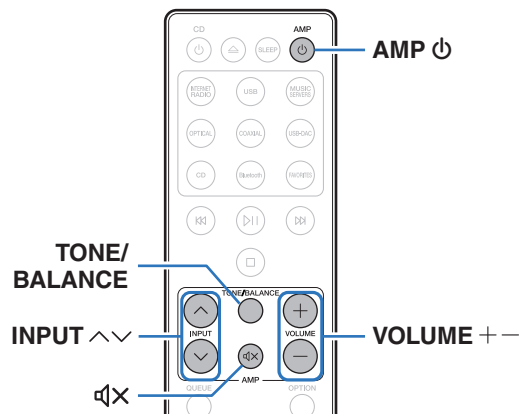
すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



再生のしかた

■ 目次

電源を入れる	24
電源をスタンバイにする	24
入力ソースを選ぶ	25
音量を調節する	25
一時的に音を消す(ミュートイング)	25
音質および音量バランスを調節する	26
ソースダイレクトモードで再生する	26
CD を再生する	26
本機をパワーアンプとして使用する	27
録音する	27



電源を入れる

- 1 AMP ㊤を押して、電源を入れる。
ディスプレイが点灯します。



- 本体の ㊤ を押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができません。

電源をスタンバイにする

- 1 AMP ㊤を押す。
スタンバイ状態になります。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

入力ソースを選ぶ

- 1 INPUT へ▼を押して、再生する入力ソースを選ぶ。
ディスプレイに選んだ入力ソースを表示します。



- 本体の INPUT を回しても、入力ソースを選択できます。

音量を調節する

- 1 VOLUME 十ーを押して、音量を調節する。
ディスプレイに音量を表示します。



- 本体の VOLUME を回しても、音量を調節できます。

一時的に音を消す(ミュートイング)

- 1 Mute を押す。
ディスプレイに“Mute”を表示します。



- ミュートを解除するときは、音量を調節するか、もう一度 Mute を押してください。

音質および音量バランスを調節する

- 1 **TONE/BALANCE** を押して、トーンバランスコントロールをオンにする。
ディスプレイに“TONE/BALANCE”を表示します。
 - 音質および音量バランス調節回路(BASS、TREBLE および BALANCE)が有効になります。
- 2 本体の **BASS**、**TREBLE** および **BALANCE** を回して音質および音量バランスを調節する。

ソースダイレクトモードで再生する

音声信号が音質および音量バランス調節回路(BASS、TREBLE および BALANCE)を通らないため、より原音に忠実な再生ができます。

お買い上げ時の設定では、ソースダイレクトモードがオンになっています。

- 1 **TONE/BALANCE** を押してソースダイレクトモードをオンにする。
ディスプレイの“TONE/BALANCE”表示が消灯します。

CD を再生する

ここでは、CD の再生のしかたを例に説明します。

- 1 **AMP**  を押して、電源を入れる。
- 2 **INPUT**  を押して、入力ソースを“CD”に切り替える。
ディスプレイに“CD”を表示します。
- 3 **CD** を再生する。
- 4 **VOLUME**  を押して、音量を調節する。

本機をパワーアンプとして使用する

プリアンプを接続して本機をパワーアンプとしてお使いの場合は、本機の入力ソースを“PWR AMP”に切り替えてください。

1 本体の INPUT を回して、入力ソースを“PWR AMP”に切り替える。

ディスプレイに“PWR AMP”を表示します。



- 入力ソースが“PWR AMP”のとき、本機の音量、バランス、音質の調節はできません。それらの調節はプリアンプでおこなってください。
- リモコンコードの設定が“AMP1”（お買い上げ時の設定）の場合、リモコンの INPUT へ▼ で入力ソースを“PWR AMP”に切り替えたり、“PWR AMP”から他の入力ソースに切り替えたりできません。リモコンで操作したい場合は、リモコンコードの設定を“AMP2”または“AMP3”に変更してください。(P.32 ページ)

ご注意

- 入力ソースが“PWR AMP”のとき、本機の音量は最大になります。再生する前に入力側の機器の出力レベルを確認し、音量を調節してください。

録音する

本機に入力した音声信号を、外部の録音機器に出力することができます。本機に接続した再生機器の音声を確認する際、再生機器を本機に接続したまま録音できます。

1 AMP 〇を押して、電源を入れる。

2 INPUT へ▼ を押して、録音したい入力ソースに切り替える。

ディスプレイに選んだ入力ソースを表示します。

3 録音をはじめる。

- 操作のしかたは、録音機器の取扱説明書をご覧ください。

設定のしかた

■ 目次

ディスプレイの明るさを切り替える	29
ライティング LED の明るさを設定する	30
オートスタンバイモードを設定する	31
リモコンコードを設定する	32

ディスプレイの明るさを切り替える



DIMMER

ディスプレイの明るさを 4 段階で調節できます。ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

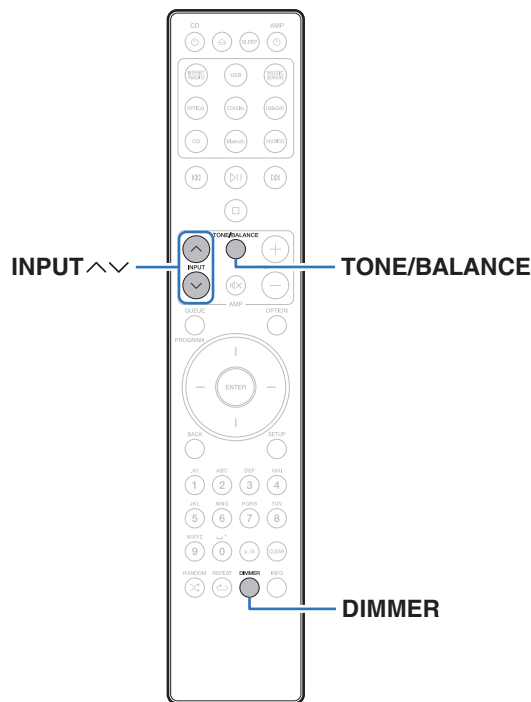
1 DIMMER を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。



- ディスプレイが消灯しているときにボタン操作をおこなうと、最も明るい設定で一時的に情報を表示します。
- お買い上げ時のディスプレイの明るさは、最も明るい設定です。
- DIMMER は Marantz 製ネットワーク SACD プレーヤー SACD 30n (別売り) にもはたらきますので、本機と組み合わせてご使用の場合は同時に明るさを調節できます。それぞれの明るさの設定が異なる場合、DIMMER を 5 秒以上押して最も明るい設定に揃えてから調節してください。

ライティングLEDの明るさを切り替える



ライティングLEDの明るさを4段階で調節できます。また、ディスプレイの明るさに合わせて連動させることもできます。ライティングLEDの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

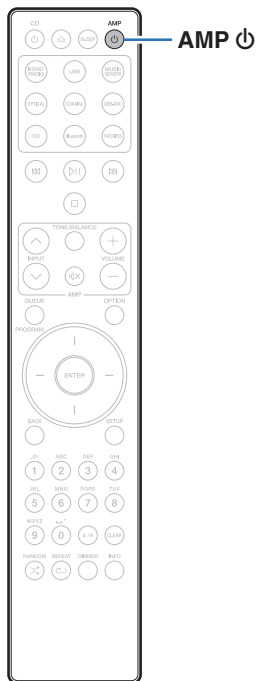
- 1 **TONE/BALANCE** を5秒以上長押しする。
ディスプレイにライティング設定メニューを表示します。
- 2 **INPUT へ** を押して、お好みの設定に変更する。

Sync	ディスプレイの明るさに連動します。 (お買い上げ時の設定): (🔧 29 ページ)
Bright / Dim / Dark / Off	
- 3 **TONE/BALANCE** を押す。
設定を確定し、通常表示に戻ります。



- ライティングLEDの明るさを設定しているとき、何も操作しない状態が5秒以上続いたり他の操作をおこなったりした場合、設定を確定して通常表示に戻ります。
- DIMMERでディスプレイの明るさを消灯に設定した場合、ライティングLEDの明るさの設定に関わらず、ライティングLEDが消灯します。(🔧 29 ページ)

オートスタンバイモードを設定する

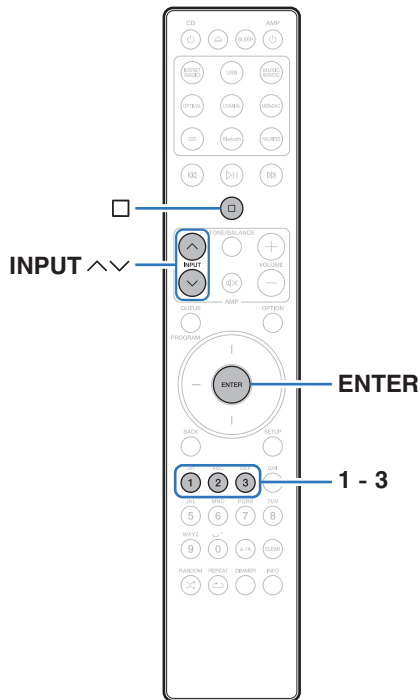


音声の入力がない状態で本機を約 30 分間操作しないとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定できます(オートスタンバイモード)。

お買い上げ時は、オートスタンバイモードを“オフ”に設定しています。

- 1 **AMP ㊦**を 5 秒以上押して、オン/オフを切り替える。
ディスプレイに“Auto STBY On”または“Auto STBY Off”を表示します。

リモコンコードを設定する



本体と付属のリモコンにはリモコンコードが設定されています。それぞれ 3 種類のリモコンコードから 1 つのコードを選ぶことができ、本体とリモコンのコードが同じ場合にリモコンで本体を操作できます。本機 3 台を同じ場所に設置する場合、お買い上げ時の設定のままだと 1 つのリモコンの操作に対して、本体が 3 台とも同じ動作をします。本体とリモコンが 1 対 1 になるようにリモコンコードを個別に設定すると、1 つのリモコン操作に対してリモコンと同じコードを設定した本体のみ動作します。

リモコンコードを設定したあと、必ずそれぞれの機器の動作を確認してください。

お買い上げ時は“AMP 1”に設定しています。



- リモコンコードの設定が“AMP1”の場合、リモコンの INPUT へ△で本機の入力ソースを“PWR AMP”に切り替えることはできません。リモコンで切り替えたい場合は、リモコンコードの設定を“AMP2”または“AMP3”に変更してください。
- 本機にリモート接続した Marantz 製ネットワークオーディオプレーヤーなどから本機をコントロールする場合、リモコンコードを“AMP 1”に設定してください。(21 ページ)

リモコンのリモコンコードを設定する

■ リモコンコードを AMP 1、AMP 2 または AMP 3 に設定する

1 □ と数字ボタンの 1、2 または 3 を同時に 5 秒以上押す。

- 選んだ数字ボタンに応じ、リモコンコードを AMP 1、AMP 2 または AMP 3 に設定します。

ご注意

- リモコンから乾電池を取り外すと買い上げ時の設定に戻ります。乾電池を交換した場合は、リモコンコードを再設定してください。

本体のリモコンコードを設定する

1 リモコンコードを設定したリモコンを本体に向け、□ と ENTER を押す。

本体のリモコンコード設定が完了すると、設定したリモコンコード(AMP 1～3)を、ディスプレイに表示します。

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

お好みの音質に調節したい	35
ディスプレイを消灯したい	35
ライティング LED を消灯したい	35
本機のリモコンで Marantz 製ネットワーク SACD プレーヤーを操作したい	35
本機をパワーアンプとして使用したい	35
本機をプリアンプとして使用したい	35
本機を複数台同じ場所で使用したい	35

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	37
リモコンで操作ができない	38
本機のディスプレイが表示されない	38
音がまったく出ない	39
希望する音が出ない	39
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	40

こんなときの解決方法

好みの音質に調節したい

- 低音調節つまみ(BASS)、高音調節つまみ(TREBLE)、バランス調節つまみ(BALANCE)で好みの音質に調節してください。(P.26 ページ)

ディスプレイを消灯したい

- DIMMER ボタンを押して、ディスプレイの明るさを消灯にしてください。(P.29 ページ)

ライティング LED を消灯したい

- “Lighting” の設定を “Off” にしてください。(P.30 ページ)

本機のリモコンで Marantz 製ネットワーク SACD プレーヤーを操作したい

- 本機のリモコンでも Marantz 製ネットワーク SACD プレーヤーを操作できます。ネットワーク SACD プレーヤーの取扱説明書もあわせてお読みください。(P.13 ページ)

本機をパワーアンプとして使用したい

- 本機の POWER AMP IN 端子にプリアンプを接続し、入力ソースを “PWR AMP” に切り替えてください。(P.20 ページ)

本機をプリアンプとして使用したい

- パワーアンプを本機の PRE OUT 端子に接続してください。(P.20 ページ)

本機を複数台同じ場所で使用したい

- それぞれの機器とリモコンの組み合わせごとに別々のリモコンコードを設定してください。(P.32 ページ)

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P.22 ページ)

電源が自動的に切れる。

- オートスタンバイモードがオンになっています。オートスタンバイモードをオフにするには、AMP ボタンを 5 秒以上押してください。(P.31 ページ)
- 本機と電源連動機能に対応した Marantz 製オーディオ機器をリモート接続することにより、本機に接続した機器の電源オフ操作に連動して本機の電源がオフ(スタンバイ)になります。(P.21 ページ)

電源が切れ、保護回路動作表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 2 回橙色点滅している。

- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。
- 電源を入れなおしても問題が解決しない場合は、本機のアンプ回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

電源が切れ、保護回路動作表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 3 回橙色点滅している。

- 本機の電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

電源が切れ、保護回路動作表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 4 回橙色点滅している。

- 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。電源が切れている状態で、1 時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。
- 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。
- スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路がはたらいている可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直すか、端末処理をするなどしたあとで、接続し直してください。(P.16 ページ)
- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。

電源が切れ、保護回路動作表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 5 回橙色点滅している。

- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。
- 電源を入れなおしても問題が解決しない場合は、本機のアンプ回路または電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

リモコンで操作ができない

リモコンで操作ができない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(P.6 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P.6 ページ)
- 本体とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。(P.6 ページ)
- 本体のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。
- 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の赤外線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。
- リモコンの VOLUME + ボタンと  ボタンが、Marantz 製ネットワーク SACD プレーヤー操作モードになっています。リモコンで本機の音量調節ができない場合は、ENTER と数字ボタンの 1 を同時に 5 秒以上押して、アンプ操作モードに切り替えてください。
- リモコンコードの設定が“AMP1”(お買い上げ時の設定)の場合、リモコンの INPUT  ボタンで入力ソースを“PWR AMP”に切り替えたり、“PWR AMP”から他の入力ソースに切り替えたりできません。リモコンで操作したい場合は、リモコンコードの設定を“AMP2”または“AMP3”に変更してください。(P.32 ページ)
- 本体とリモコンのリモコンコード設定が異なっています。本体とリモコンのリモコンコードを同じコードに設定してください。(P.32 ページ)

本機のディスプレイが表示されない

ディスプレイの表示が消える。

- リモコンの DIMMER ボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。(P.29 ページ)

音がまったく出ない

スピーカーから音が出ない。

- すべての機器の接続を確認してください。(🔧 15 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。(🔧 16 ページ)
- スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子の締めつけが緩んでいないか確認してください。(🔧 16 ページ)
- 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。(🔧 25 ページ)
- 音量が最小になっています。音量を適切な大きさに調節してください。(🔧 25 ページ)
- ミューティング(消音)モードを解除してください。(🔧 25 ページ)

希望する音が出ない

特定のスピーカーから音が出ない。

- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。(🔧 16 ページ)
- バランス調節つまみ(BALANCE)を調節してください。(🔧 26 ページ)

ステレオ再生のときに、左右の音声が入れ替わっている。

- 左右のスピーカーが正しいスピーカー端子に接続されているか確認してください。(🔧 17 ページ)

音が途切れたり、ノイズが入ったりする

レコード再生のときに、音がひずむ。

- 針圧を調節してください。
- レコードの針先を確認してください。
- カートリッジを交換してください。

レコード再生のときに、“ブーン”という雑音スピーカーから出力される。

- レコードプレーヤーが正しく接続されていることを確認してください。(P.18 ページ)
- レコードプレーヤーの近くにテレビや AV 機器などがあると、再生音に影響を受ける場合があります。レコードプレーヤーをテレビや AV 機器などから離して設置してください。

レコード再生のときに音量を大きくすると、“ワーン”という雑音スピーカーから出力される。(ハウリング現象)

- レコードプレーヤーとスピーカーを離して設置してください。(P.18 ページ)
- スピーカーの振動が床を通してプレーヤーに伝わる場合があります。スピーカーの振動をクッションなどで吸収させてください。

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

で注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代・・・修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料・・・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

用語の解説

MM/MC カートリッジ

レコードプレーヤーに取り付けるカートリッジには、MM 型 (Moving Magnet) と、MC 型 (Moving Coil) の 2 種類があります。出力レベルがそれぞれ異なるため、本機に搭載しているフォノイコライザーアンプの設定を、お使いのカートリッジの種類に合わせて切り替える必要があります。設定の切り替えは本体のカートリッジ切り替えつまみでおこなってください。(P.9 ページ)

ソースダイレクト

入力された音声信号を、音質調節回路 (BASS/TREBLE/BALANCE) を通さずに出力するため、より原音に忠実な再生がおこなえます。

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω (オーム) という単位であらわします。この値が小さいほど大きな電力が得られます。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。

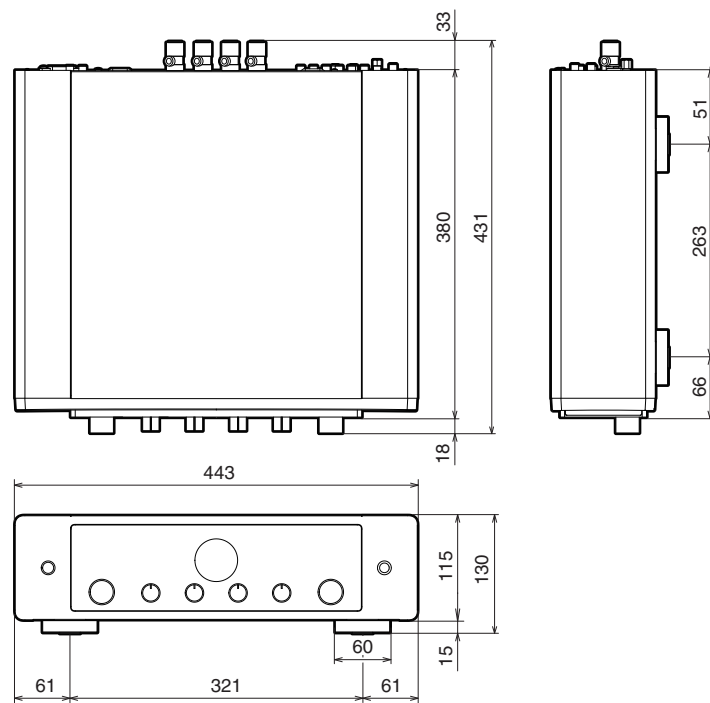
主な仕様

• 定格出力(両チャンネル同時駆動):	100W x 2(負荷 8Ω、1kHz、T.H.D. 0.05%) 200W x 2(負荷 4Ω、1kHz、T.H.D. 0.1%)
• 全高調波歪率 (1kHz、両チャンネル同時駆動、50W、負荷 8Ω):	0.005%
• 周波数特性(CD、1W、負荷 8Ω):	5Hz~50kHz ±3dB
• ダンピングファクター(負荷 8Ω、20Hz~20kHz):	500
• 入力感度/ 入力インピーダンス	
PHONO(MC Low):	250μV/33Ω
PHONO(MC Mid):	250μV/100Ω
PHONO(MC High):	250μV/390Ω
PHONO(MM):	2.3mV/39kΩ
CD/TUNER/LINE/RECORDER :	220mV/18kΩ
POWER AMP :	1.0V/18kΩ
• 出力電圧/出力インピーダンス	
PRE OUT :	1.6V/220Ω

• PHONO 最大許容入力(1kHz)	
MC Low/Mid/High :	8mV
MM :	80mV
• RIAA 偏差(20Hz~20kHz):	±0.5dB
• S/N 比(IHF A ネットワーク、負荷 8Ω)	
PHONO(MC Low/Mid/High):	75dB(0.5mV 入力)
PHONO(MM):	88dB(5mV 入力)
CD/TUNER/LINE/RECORDER :	107dB(定格出力)
• トーンコントロール	
BASS(50Hz):	±10dB
TREBLE(15kHz):	±10dB
• 動作温度:	+5℃~+35℃
• 電源:	AC100V、50/60Hz
• 消費電力:	150W
• スタンバイ時の消費電力:	0.2W

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:14.6kg

索引

カ

CD プレーヤー 18, 26

ク

オートスタンバイモード 31
音量 25

コ

故障かな？と思ったら 36
こんなときの解決方法 35

ク

スピーカー 16
スピーカーインピーダンス 43

ク

ソースダイレクト 26, 43

ク

チューナー 18

ク

トーン 26

ク

入力ソース 25

ク

ネットワークオーディオプレーヤー .. 18

ク

パワーアンプ 20

ク

プリアンプ 20
ブルーレイディスクプレーヤー 18
フロントパネル 7

ク

保護回路 43

ク

ミュート 25

ク

リアパネル 10
リモコン 12
リモコンコード設定 33

ク

レコードプレーヤー 18

ク

録音機器 19

marantz

Printed in Japan 5411 11841 10ASB
© 2020 Sound United. All Rights Reserved.